

、工 事 概 要

- . 建築工事仕様

- 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造番号等は、次の○の事項を満たすものとし、その証明と必要とある資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督機関に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督機関の承認を受けた場合はこの限りではない。
- 品質及び性能に関する試験データを整備している。
- 生産施設及び品質の管理を適切に行っている。
- 安定的な供給が可能である。
- 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性が高い。
- 販売、保守等の営業体制が整えられている。

- | | |
|---------------|--------------|
| 床型特用鋼製デッキプレート | オーバーヘッドドア |
| 鉄骨柱下無収縮モルタル | 防水剤 |
| 無収縮グラウト材 | 現場発泡断熱材 |
| 乾式保護材 | フリーアークセーフロア |
| 既成調合モルタル | 可動間仕切 |
| ルーフドレン | 移動間仕切 |
| 吸水調整材 | トイレブース |
| アルミニウム製建具 | 煙突成形ライニング材 |
| 鋼製建具 | 天井点検口 |
| 鋼製軽量建具 | 床点検口 |
| ステンレス製建具 | グレーチング |
| 経前類 | 屋上緑化システム |
| クローザ類 | トップライト |
| 自動巻機構 | エポキシ樹脂 |
| 自閉式上吊り引戸機構 | ポリマーセメントモルタル |
| 軽量シャッター | 既成調合目地材 |
| 軽量シャッター | 鉄筋製ふた |

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
	よ2S	・ よ2S作業

	塗装	・ 建築塗装作業
コンクリートブロック・ＡＬＣ パネル工事	ブロック建築 エーエルシーパネル施工	・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートーチ工法 防水工事作業 ・ ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	○ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金 スレート施工	・ 内外表板金作業 ・ スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工 建築板金	・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外表板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業
	建具製作 ガラス用フィルム施工	・ 木製建具加工作業 ・ 建築フィルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工 サッシ施工 ガラス施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ・ ２級及び３級系仕上げ工事作業を含む ・ ボード仕上げ工事作業
排水工事	表装 配管	・ 壁装作業 ・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 溶解ペイントマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業
畳工事	畳製作	・ 畳製作作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	・ 樹脂接着剤注入工事作業 ・ 左官作業 ・ タイル張り作業

mm 55	技 能 士		→ 技能士の職種により色を変えることも可
	職 種	建築大工	→ 技能士の種別
mm 55	級 別	1 級	→ 技能士の級の別
	氏 名	山 夫	
	血液型	型	
	勤務先	工務店	
	自 宅	鳥取市	→ 技能士本人の住所
	発行	金	→ 名札の発行元
写真 (30 × 40)			
90 mm			

- | 区 分 | 分類、規格 | 提出箇所 | 部数 | 備考 |
|--------|-----------|--|----|----|
| 工事記録写真 | カラーサービсп判 | 各工種の工程毎 | 1部 | |
| 完成写真 | カラーサービсп判 | <div> <div>○ 内部 各監査所</div> <div>・ 外部 箇所</div> </div> | 2部 | |
| | カラーキャビネ判 | <div> <div>・ 内部 箇所</div> <div>・ 外部 箇所</div> </div> | 部 | |
| ・ パネル | カラー | <div> <div>・ 四つ切 箇所</div> <div>・ 半切 箇所</div> <div>・ 全紙 箇所</div> </div> | 2部 | |

- | | | | |
|-------------------------|-----------------------------------|--|-----|
| ① 完成時の提出図書
(1.7.1-3) | 下記ものを監督職員に提出する。 | | |
| | 原図 A 1 版又は A 2 版 (設計図の第 2 原図訂正不可) | | 1 部 |
| | ○ C A D データ | | 1 式 |
| | 原図の大型コピー (白焼) の 2 つ折製本 | | 2 部 |
| | 縮小版 2 つ折製本 (A 4 版) | | 2 部 |
| | ・ 複写 縮小版 A 3/ラ焼 | | 2 部 |

- 完成図の種類及び内容
 - ・ 案内図・配置図・面積表：配置図には外構整備、屋外排水系統図含む（B.M.の表示）。
 - 平面図：~~敷地・建築敷・水廻り・造作設備等を表示する。~~ 施工範囲及び使用材料名を記入する。
 - ・ 立面図：外壁上等を表示する。
 - ・ 断面図：階高、天井高等を表示する。
 - ・ 仕上表：屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する。
 - ・ 構造図：杭、構造躯体等を表示する。
 - ・ その他（ ）
 - ・ 原図ケース：製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける。

13	設備工事との取り扱い	設備機器の位置、取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
----	------------	--

設備工事との取合い		建 築	電 気	機 械
・ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強 スリーブ・箱入れ	・	・	・
・ 鉄骨造の開口及び補強		・	・	・
・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（釘処理共）		・	・	
・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・	・	
・ 埋込分電盤・端子箱、プルボックスの 底枠及び埋込部分の補強	底枠 補強	・	・	・
・ O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	切込	・	・	・
・ 埋込型機器取付用の天井 壁の切込加工、下地の補強	補強	・	・	・
・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び ドアクローザ、フロアヒンジ		・	・	・
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）	基礎	・	・	・
・ テレビアンテナ	アンカーボルト	・	・	・
・ 天井点検口		・	・	・
・ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設備	・	・	・

図示による ・ ()

- | | | | | |
|----|-------------------|---------------|------|---------|
| 18 | 環境配慮 | 鳥取県公共事業環境配慮指針 | 対象工事 | ・ 非対象工事 |
| 19 | 建設リサイクル法 | | 対象工事 | ・ 非対象工事 |
| 20 | 鳥取県福祉の
まちづくり条例 | | 対象工事 | ・ 非対象工事 |
| 21 | 景観形成条例 | | 対象工事 | ・ 非対象工事 |
| 22 | 省エネ法 | | 対象工事 | ・ 非対象工事 |

-
- 工事表示板**
- 900
- ### 建 築 工 事 中

工事名	新駅舎 駅前広場 道路橋	発色 白
建設事務所	建設部 コンクリート課	発色 マダカシロ紙等 SY R.E.S.11
計画年度	平成 年 月 から 年 月 まで	
設計者	設計 〇〇	
監督者	生活環境課 建設主任課	
施工者	設計 〇〇	
連絡先役職	建築	
	室長	
関係団体	関係団体	
掲載期間	総合事務科生活環境課	発色 白
	期 間	
連絡先	電話	
- 1,200
- 記入要領**
- ① 書体は角ゴシックとする。
 - ② お断りの表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。
- お断り表示板**
- 1,200
- ### 御通行の皆様へ

令和 年 月 日 工事施行予定

観音のバス、又は立派園を横断する
 （大矢加子コーベを寄り付けてもよい）

事業の目的

現在の道幅が 〇m
 事業遂行のため、工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よりお願いいたします。

施工者

設計	〇〇	発色 白
連絡先役職	建築	
氏名	〇〇	
関係団体	関係団体	
掲載期間	総合事務科生活環境課	
	期 間	
連絡先	電話	
- 1,600

- | | | | | |
|---|--------------|---------|----------|---------------------|
| ④ | 工事用水 | 構内既存の施設 | 利用できない | ・ 利用できる (有償 ・ 無償) |
| ⑤ | 工事用電力 | 構内既存の施設 | 利用できない | ・ 利用できる (有償 ・ 無償) |
| ⑥ | 工事用仮設物 | 構内既存の施設 | ○ 利用できない | ・ 利用できる |
| 7 | 工事現場のイメージアップ | | | |

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という。） 建築工事監理指針（令和元年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成30年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書（平成31年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 建築改修工事監理指針（令和元年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
	② 官公庁その他への手続 （1.1.3）	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	3 電気保安技術者 （1.3.3）	工事現場にあく電気保安技術者は、鳥取県建設部管轄工事自家用電気工作物保安規定第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	4 工事安全計画書 （1.3.7）	建築工事安全施工技術指針及び建設公営災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤ 発生材の処理等 （1.3.11）	・ 引き渡しを要するもの（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再生資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ⑥ 建設発生木材
	⑥ 環境への配慮 （1.4.1）	化学物質を分散させる建築材料等 1）本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次のからを満たすものとする。 食板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上り塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 アセトアルデヒド（フタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ・2-エチルヘキシル）を含有しない難燃性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 2）ホルムアルデヒド放散量の区分において、規制対象外とは次の 又は に該当する材料を指す。 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3）ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の 又は に該当する材料を指す。 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第10号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（資材（材料及び機材を含む）の梱包及び容器）の梱包及び容器とする。
	⑦ 材料の品質等 （1.4.2）	材料・機材等の品質及び性能 1）本工事使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承認を受ける。 3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

防水工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業 ・ F R P 防水工事作業
石工事	石材施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイル張り作業
木工工事	建築大工	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大工工事作業 ・ 内外装板金作業
屋根及びとい工事	建築板金	<ul style="list-style-type: none"> ・ スレート工事作業
金庫工事	内装仕上施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼製下地工事作業
	建築板金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内外装板金作業
左官工事	左官	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動ドア施工作業
	建具製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木製建具加工作業
	ガラス用フィルム施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築フィルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ○ 2 級及び3 級及び4 級及び5 級及び6 級及び7 級及び8 級及び9 級及び10 級及び11 級及び12 級及び13 級及び14 級及び15 級及び16 級及び17 級及び18 級及び19 級及び20 級及び21 級及び22 級及び23 級及び24 級及び25 級及び26 級及び27 級及び28 級及び29 級及び30 級及び31 級及び32 級及び33 級及び34 級及び35 級及び36 級及び37 級及び38 級及び39 級及び40 級及び41 級及び42 級及び43 級及び44 級及び45 級及び46 級及び47 級及び48 級及び49 級及び50 級及び51 級及び52 級及び53 級及び54 級及び55 級及び56 級及び57 級及び58 級及び59 級及び60 級及び61 級及び62 級及び63 級及び64 級及び65 級及び66 級及び67 級及び68 級及び69 級及び70 級及び71 級及び72 級及び73 級及び74 級及び75 級及び76 級及び77 級及び78 級及び79 級及び80 級及び81 級及び82 級及び83 級及び84 級及び85 級及び86 級及び87 級及び88 級及び89 級及び90 級及び91 級及び92 級及び93 級及び94 級及び95 級及び96 級及び97 級及び98 級及び99 級及び100 級及び101 級及び102 級及び103 級及び104 級及び105 級及び106 級及び107 級及び108 級及び109 級及び110 級及び111 級及び112 級及び113 級及び114 級及び115 級及び116 級及び117 級及び118 級及び119 級及び120 級及び121 級及び122 級及び123 級及び124 級及び125 級及び126 級及び127 級及び128 級及び129 級及び130 級及び131 級及び132 級及び133 級及び134 級及び135 級及び136 級及び137 級及び138 級及び139 級及び140 級及び141 級及び142 級及び143 級及び144 級及び145 級及び146 級及び147 級及び148 級及び149 級及び150 級及び151 級及び152 級及び153 級及び154 級及び155 級及び156 級及び157 級及び158 級及び159 級及び160 級及び161 級及び162 級及び163 級及び164 級及び165 級及び166 級及び167 級及び168 級及び169 級及び170 級及び171 級及び172 級及び173 級及び174 級及び175 級及び176 級及び177 級及び178 級及び179 級及び180 級及び181 級及び182 級及び183 級及び184 級及び185 級及び186 級及び187 級及び188 級及び189 級及び190 級及び191 級及び192 級及び193 級及び194 級及び195 級及び196 級及び197 級及び198 級及び199 級及び200 級及び201 級及び202 級及び203 級及び204 級及び205 級及び206 級及び207 級及び208 級及び209 級及び210 級及び211 級及び212 級及び213 級及び214 級及び215 級及び216 級及び217 級及び218 級及び219 級及び220 級及び221 級及び222 級及び223 級及び224 級及び225 級及び226 級及び227 級及び228 級及び229 級及び230 級及び231 級及び232 級及び233 級及び234 級及び235 級及び236 級及び237 級及び238 級及び239 級及び240 級及び241 級及び242 級及び243 級及び244 級及び245 級及び246 級及び247 級及び248 級及び249 級及び250 級及び251 級及び252 級及び253 級及び254 級及び255 級及び256 級及び257 級及び258 級及び259 級及び260 級及び261 級及び262 級及び263 級及び264 級及び265 級及び266 級及び267 級及び268 級及び269 級及び270 級及び271 級及び272 級及び273 級及び274 級及び275 級及び276 級及び277 級及び278 級及び279 級及び280 級及び281 級及び282 級及び283 級及び284 級及び285 級及び286 級及び287 級及び288 級及び289 級及び290 級及び291 級及び292 級及び293 級及び294 級及び295 級及び296 級及び297 級及び298 級及び299 級及び300 級及び301 級及び302 級及び303 級及び304 級及び305 級及び306 級及び307 級及び308 級及び309 級及び310 級及び311 級及び312 級及び313 級及び314 級及び315 級及び316 級及び317 級及び318 級及び319 級及び320 級及び321 級及び322 級及び323 級及び324 級及び325 級及び326 級及び327 級及び328 級及び329 級及び330 級及び331 級及び332 級及び333 級及び334 級及び335 級及び336 級及び337 級及び338 級及び339 級及び340 級及び341 級及び342 級及び343 級及び344 級及び345 級及び346 級及び347 級及び348 級及び349 級及び350 級及び351 級及び352 級及び353 級及び354 級及び355 級及び356 級及び357 級及び358 級及び359 級及び360 級及び361 級及び362 級及び363 級及び364 級及び365 級及び366 級及び367 級及び368 級及び369 級及び370 級及び371 級及び372 級及び373 級及び374 級及び375 級及び376 級及び377 級及び378 級及び379 級及び380 級及び381 級及び382 級及び383 級及び384 級及び385 級及び386 級及び387 級及び388 級及び389 級及び390 級及び391 級及び392 級及び393 級及び394 級及び395 級及び396 級及び397 級及び398 級及び399 級及び400 級及び401 級及び402 級及び403 級及び404 級及び405 級及び406 級及び407 級及び408 級及び409 級及び410 級及び411 級及び412 級及び413 級及び414 級及び415 級及び416 級及び417 級及び418 級及び419 級及び420 級及び421 級及び422 級及び423 級及び424 級及び425 級及び426 級及び427 級及び428 級及び429 級及び430 級及び431 級及び432 級及び433 級及び434 級及び435 級及び436 級及び437 級及び438 級及び439 級及び440 級及び441 級及び442 級及び443 級及び444 級及び445 級及び446 級及び447 級及び448 級及び449 級及び450 級及び451 級及び452 級及び453 級及び454 級及び455 級及び456 級及び457 級及び458 級及び459 級及び460 級及び461 級及び462 級及び463 級及び464 級及び465 級及び466 級及び467 級及び468 級及び469 級及び470 級及び471 級及び472 級及び473 級及び474 級及び475 級及び476 級及び477 級及び478 級及び479 級及び480 級及び481 級及び482 級及び483 級及び484 級及び485 級及び486 級及び487 級及び488 級及び489 級及び490 級及び491 級及び492 級及び493 級及び494 級及び495 級及び496 級及び497 級及び498 級及び499 級及び500 級及び501 級及び502 級及び503 級及び504 級及び505 級及び506 級及び507 級及び508 級及び509 級及び510 級及び511 級及び512 級及び513 級及び514 級及び515 級及び516 級及び517 級及び518 級及び519 級及び520 級及び521 級及び522 級及び523 級及び524 級及び525 級及び526 級及び527 級及び528 級及び529 級及び530 級及び531 級及び532 級及び533 級及び534 級及び535 級及び536 級及び537 級及び538

・ 立面図：外壁仕上等を表示する。
 ・ 断面図：階高、天井高等を表示する。
 ・ 仕上表：屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する。
 ・ 構造図：杭、構造躯体等を表示する。
 ・ その他（ ）
 ・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける。

12 建築図面と施工計画書
 (1.7.2)

提出した建築図面と施工計画書の著作に係る当該建物に用いる使用権は、発注者に移譲するものとする。

13 設備工事との取り合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

設備工事との取り合い		建 築	電 気	機 械
・ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強 スリーブ・箱入れ	・	・	・
・ 鉄骨造の開口及び補強		・	・	・
・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（釘処理共）		・	・	・
・ 軽量鉄骨造のボックス取付用下地		・	・	・
・ 増設分電盤・端子盤・プルボックスの 仮枠及び増設部分の補強	仮枠 補強	・	・	・
・ O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	切込	・	・	・
・ 増設型機器取付用の天井 壁の切込加工、下地の補強	補強	・	・	・
・ 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び ドアクローザ、フロアヒンジ		・	・	・
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）		・	・	・
・ テレビアンテナ	基礎 アンカーボルト	・	・	・
・ 天井点検口		・	・	・
・ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設備	・	・	・

14 設計 G L

図示による ・ （ ）

15 耐荷重及び耐外力

建築基準法に基づき定められた区分等
 基準風速 $V_o = \text{ m / s }$
 地表面粗度区分 ・ ・ ・ ・ ・
 積雪区分 平成 1 2 年 5 月 3 1 日 建設省告示第 1 4 5 5 号 別表（ ）

16 保全に関する資料
 (1.7.3)

下記のものを A 4 版ファイルに製本して監督職員に提出する。
 ・ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
 ・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書
 ・ 保証書
 ・ 官公署届出書類（保守に必要とするもの）
 ・ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書
 ・

17 火災保険等

工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。
 （保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで（概ね工期＋2 日）とする。）

18 環境配慮

鳥取県公共事業環境配慮指針 対象工事 ・ 非対象工事

19 建設リサイクル法

対象工事 ・ 非対象工事

20 鳥取県福祉の
 まちづくり条例

対象工事 ・ 非対象工事


21 景観形成条例

対象工事 ・ 非対象工事

22 省エネ法

対象工事 ・ 非対象工事

[illegible]

					町立こがねこども園床改修工事	 有限会社 アーク設計工房 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	NO. A - 1
				建築工事仕様書 (1)	NO SCALE		DRAWING NO. 2021.4